

平成28年度 学年[高1] 教科[英語表現 I (2単位)]

教科・分野		週時間数	クラス	コース	担当者
英語β		2	ABCDE	文理コース・生命科学コース	小寺裕之・松村亜貴子・新谷康男・山本和美
目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。			
評価の観点		コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
		コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
大切に育てたいもの		学習のしかたを工夫し、仲間と協力しながら学ぶことの喜びを感じながら、意欲的に活動させる。	英文エッセイやスピーチ原稿などを、学習した文法を活用し、内容を工夫して論理的に表現させる。		英文の背景にある文化や、国際社会の諸問題などについて考察し、異文化理解を深めさせる。
学期	考査	学習内容 (Situation)	発音 (Pronunciation) 表現 (Expression)	言語材料 (Form / Grammar)	機能 (Function) 学習到達目標 (CAN-DO)
1 学 期	中間	Lesson 1(紹介) Lesson 2(興味・関心) Show and Tell	イントネーション リズム Introductions & Interests	文の種類 文型と動詞	相づちを打つ・聞き直すことができる 言い換える・話題を変えることができる
	期末	Lesson 3(旅行) Lesson 4(スポーツ) Useful Words & Phrases	母音 子音 Travel & Sports	時制 完了形	計画する・予定することができる 原因・理由を述べるることができる
2 学 期	中間	Lesson 5(食事) Lesson 6(観光) Linking Words	カタカナ語 数字の発音 Eating Out & Sightseeing	助動詞 受動態	許可を求める・依頼することができる 喜びや驚きの表現を使うことができる
	期末	Lesson 7(交際) Lesson 8(娯楽) Lesson 9(ルール) Paragraph	アクセント つながる音 変わる音 Socializing & Pastimes	不定詞 動名詞 分詞	感謝や謝罪の表現を使うことができる 勧誘や申し出の表現を使うことができる 賛成や反対の表現を使うことができる
3 学 期	期末	Lesson 10(文化) Lesson 11(社会問題) Lesson 12(悩み事) Summary	聞こえなくなる音 文の中での強調 アメリカ英語とイギリス英語 Cultures & Social Problems	関係詞 比較 仮定法	説明することができる 意見を述べる・主張することができる 助言する・提案することができる
評価の方法		定期考査、小テスト、課題提出、授業への取り組み(ノート点検を含む)を総合的に評価する。			
学習活動の特徴		参考書を参照しながら、英文法の基礎を学習する。さらに、日常的なコミュニケーション活動へと応用できるように、ネイティブによるOral Communication / Writing の授業との連携を図る。 ※また、「コミュニケーション英語 I」の授業と連携し、教科書の英文を用いたリプロダクションの活動等で言語材料(文法項目、表現等)の確実な定着を図る。			
授業の形態		それぞれホームルーム単位で授業を行う。			
使用教科書		『Vision Quest English Expression I』(啓林館)			
使用副教材		『Vision Quest English Expression I Grammar 24 WORKBOOK』(ABC組) 『Vision Quest English Expression I Grammar 47 WORKBOOK』(D&E組)			
用意するもの		教科書、ノート、ワークブック、辞書			
備考		NELP (Native English Language Program)の生徒はネイティブによる発展的な学習を含む。			

平成28年度 学年[高1] 教科[英語表現 I (2単位)]

教科・分野		週時間数	クラス	コース	担当者
英語β		2	NELP生	文理コース・生命科学コース	1時間 Mark 1時間 山本和美
目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養			
評価の観点		コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
		コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
大切に育てたいもの		学習のしかたを工夫し、仲間と協力しながら学ぶことの喜びを感じながら、意欲的に活動させる。	英文エッセイやスピーチ原稿などを、学習した文法を活用し、内容を工夫して論理的に表現させる。		英文の背景にある文化や、国際社会の諸問題などについて考察し、異文化理解を深めさせる。
学期	考査	学習内容 (Situation)	発音 (Pronunciation) 表現 (Expression)	言語材料 (Form / Grammar)	機能 (Function) 学習到達目標 (CAN-DO)
1 学 期	中間	Lesson 1(紹介) Lesson 2(興味・関心) Show and Tell	イントネーション リズム Introductions & Interests	文の種類 文型と動詞	相づちを打つ・聞き直すことができる 言い換える・話題を変えることができる
	期末	Lesson 3(旅行) Lesson 4(スポーツ) Useful Words & Phrases	母音 子音 Travel & Sports	時制 完了形	計画する・予定することができる 原因・理由を述べるることができる
2 学 期	中間	Lesson 5(食事) Lesson 6(観光) Linking Words	カタカナ語 数字の発音 Eating Out & Sightseeing	助動詞 受動態	許可を求める・依頼することができる 喜びや驚きの表現を使うことができる
	期末	Lesson 7(交際) Lesson 8(娯楽) Lesson 9(ルール) Paragraph	アクセント つながる音 変わる音 Socializing & Pastimes	不定詞 動名詞 分詞	感謝や謝罪の表現を使うことができる 勧誘や申し出の表現を使うことができる 賛成や反対の表現を使うことができる
3 学 期	期末	Lesson 10(文化) Lesson 11(社会問題) Lesson 12(悩み事) Summary	聞こえなくなる音 文の中での強調 アメリカ英語とイギリス英語 Cultures & Social Problems	関係詞 比較 仮定法	説明することができる 意見を述べる・主張することができる 助言する・提案することができる
評価の方法		定期考査、小テスト、課題提出、授業への取り組み(ノート点検を含む)を総合的に評価する。			
学習活動の特徴		参考書を参照しながら、英文法の基礎を学習する。さらに、日常的なコミュニケーション活動へと応用できるように、ネイティブによるOral Communication / Writing の授業との連携を図る。 ※また、「コミュニケーション英語 I」の授業と連携し、教科書の英文を用いたリプロダクションの活動等で言語材料(文法項目、表現等)の確実な定着を図る。			
授業の形態		NELP生のみ			
使用教科書		『Vision Quest English Expression I』(啓林館)			
使用副教材		『Vision Quest English Expression I Grammar 24 WORKBOOK』(ABC組) 『Vision Quest English Expression I Grammar 47 WORKBOOK』(D&E組)			
用意するもの		教科書、ノート、ワークブック、辞書			
備考		NELP (Native English Language Program)の生徒はネイティブによる発展的な学習を含む。			